

三朝温泉研究会主催

## 学術談話会及び野外巡検記事

1956年7月30日から8月3日にわたる間鳥取県三朝温泉を最初の拠点とし岡山県倉敷市を最後の解散の場所として、花崗岩・温泉・ウラン鉱物及ウラン資源に関する諸問題を取扱った学術談話会及び野外巡検が行われた。

先づ7月30日31日は学術談話会にあてられ、三朝温泉岩崎旅館のホールに於て学会形式で会が進められた。岡山大学温泉研究所長坪井誠太郎博士の開会の辞に始まり、東京大学教授片山信夫博士の閉会の辞に終わった。講演題目を講演の行われた順序に並べると次の通りである。

7月30日

### I 花崗岩に関する諸問題

- |                         |         |                        |
|-------------------------|---------|------------------------|
| 1. 岡山県倉敷市北方の花崗岩について     | 岡山県・教研  | 沼野 忠之                  |
| 2. 三朝温泉附近の花崗岩について       | 岡山大・温研  | 相馬 徳蔵                  |
| 3. 広島・島根県下花崗岩類の時代に関する資料 | 広島大・理   | °吉田 博直<br>°小島 丈児       |
| 4. 花崗岩中の放射能分布           | 京大・理    | 初田甚一郎<br>°尹 一          |
| 5. 花崗岩中の Ra 含有量         | 九大・理    | 富田 達<br>唐木田芳文<br>°桃井 斉 |
| 6. 北九州白堊紀花崗岩類の進化とジルコン   | 九大・理    | 富田 達<br>°唐木田芳文<br>桃井 斉 |
| 7. 花崗岩中の長石の成分の一例        | 小野田セメント | 末野 悌六                  |
| 8. 山陰地方産花崗岩質岩石について      | 島根大・文理  | 山口 鎌次                  |
| 9. 日本の花崗岩と鉱床との関係        | 東大・理    | 渡辺 武男                  |

### II 温泉に関する諸問題

- |                                 |        |       |
|---------------------------------|--------|-------|
| 10. 山陰地方に於ける温泉の湧出に関する地質学的一考察    | 島根大・文理 | 山口 鎌次 |
| 11. 三朝附近の花崗岩の放射能的特徴と三朝温泉沈澱物の放射能 | 京大・理   | 早瀬 一一 |
| 12. 温泉の物理探査                     | 京大・理   | 初田甚一郎 |
| 13. 道後温泉の湧出機構について               | 愛媛大・文理 | 豊田 英義 |
| 14. 二三の熱水変質帯の生成温度               | 東大・教養  | 岩生 周一 |
| 15. 別府温泉十万地獄に於ける Ge, Li の分布     | 東大・教養  | 湊 秀雄  |
| 16. 2, 3の放射能泉に於ける RnとRaB の関係    | 岡山大・温研 | 梅本 春次 |

7月31日

- |                           |        |       |
|---------------------------|--------|-------|
| 17. 温泉を支配する基本法則           | 岡山大・温研 | 杉原 健  |
| 18. 玉川温泉の水質とその化学的作用       | 東大・理   | 南 英一  |
| 19. 本邦の温泉沈澱物、特に放射性沈澱物について | 東大・理   | 斉藤 信房 |

### Ⅲ ウラン鉱物及ウラン資源に関する諸問題

- |                           |       |         |
|---------------------------|-------|---------|
| 20. 人形峠のウラン鉱床             | 東大・教養 | 片山 信夫   |
| 21. 福島県川俣町水晶山ペグマタイト       | 東北大・理 | 大森 啓一   |
|                           | 地     | 調 菊池 徹  |
| 22. Torbernite group の鉱物  | 岡山大・理 | 逸見吉之助   |
| 23. 北投石を水に浸した場合のラドンの出かた   | 京大・理  | 初田甚一郎   |
|                           |       | 西村 進    |
| 24. 地質調査所による日本のウラン鉱床の探査   | 地     | 調 木村 正  |
| 25. 小鴨鉱山のウラン鉱床            | 地     | 調 高瀬 博  |
| 26. 三吉鉱山の鉱床               | 地     | 調 小村幸二郎 |
| 27. 苗木地方のウラン・トリウム鉱        | 地     | 調 浜地 忠男 |
| 28. 石川地方のウラン鉱床            | 地     | 調 小関 幸治 |
| 29. 数種の変成岩及び塩基性岩の放射能      | 京大・理  | 堤 得道    |
| 30. 塩素処理によるウランの揮発回収方法について | 東工 試  | 鈴木 篁    |

(○印は講演者)

一応講演時間には制限がなかったわけであるが、講演者の中には予定時間をはるかに越えて熱心に講演される方もあり、又終始各講演毎に活発な討論が行われたり、午後5時にはゆっくり終る予定であったが1時間もおくれて世話人を面喰わした。

会場には一般の学会には見られない様な美しい部屋があてられ、初日の30日の談話会終了後同会場に於て懇親会が催され、参加者80余名の方々のテーブル・スピーチを交え盛夏の山峡の一夜を一同楽しく過した。

次に野外巡検が行われ、8月1日は鳥取県小鴨鉱山であって、地質調査所の調査結果にもとづいて案内された。8月2日は鳥取・岡山の県境である人形峠に於て同じく地質調査所の調査結果について説明された。尚お同日午後は岡山へ向い一泊、翌8月3日は倉敷市三吉鉱山に歩を運び、希望者は大原美術館の見学も行い、5日間の日程を了えた。巡検参加者は約50名であった。

5日間快晴に恵まれ、順調な日程で会は終ったけれども暑さは一入であった。

尚おこの催しにあたっては下記の方々が世話人として活躍され、御尽力頂いた。

羽田 重吉 早瀬 一一 逸見吉之助 平井 重義 片山 信夫 御船 政明  
森 永 寛 大江 二郎 佐藤 源郎 相馬 徳蔵 杉原 健 田中 良憲  
坪井誠太郎 梅本 春次 山根 新次 (ABC順)

(梅本春次記)